

岩沼市教育委員会
点検・評価報告書
(平成30年度実績)

岩沼市教育委員会

目 次

I 点検・評価の概要	1
1 本報告書について	
2 点検・評価実施内容	
II 教育委員会の会議等活動状況	2
1 教育委員会の会議の開催状況	
2 総合教育会議の開催状況	
3 教育機関訪問	
III 事務事業の実施状況・点検・評価	5
岩沼市教育基本方針	5
「たくましさやさしさを培う学校づくりの推進」に関する事業	6
「学びと潤いにみちた地域社会の実現」に関する事業	11
「かおり高い芸術文化の醸成」に関する事業	13
「感動と活力あふれるスポーツの振興」に関する事業	15
IV 学識経験者の意見	16

I 点検・評価の概要

1 本報告書について

本報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定により、岩沼市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施し、その結果をまとめたものです。

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）】

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価実施内容

岩沼市教育重点目標に基づいて平成30年度に実施した主な事務事業の執行状況について、教育委員会において点検・評価を行いました。

その後、教育委員会が行った点検・評価（自己評価）について、学識経験者2名の方から御意見をいただき、改めて各事務事業を検証しました。

御意見をいただいた学識経験者

鈴木 啓二郎 氏（元公立中学校長）

椎名 勝彦 氏（元公立中学校長）

II 教育委員会の会議等活動状況

○教育長・教育委員（平成 30 年度在籍）

職 名	氏 名	備 考
教 育 長	百 井 崇	(H25. 10. 1～)
教育長職務代理者	佐 藤 雅 晴	(H29. 10. 1～) (委員 H4. 10. 9～)
委 員	小 林 修 子	(H24. 10. 9～)
委 員	藤 川 チュキ	(H19. 10. 4～)
委 員	南 舘 公 雄	(H26. 11. 1～)

1 教育委員会の会議の開催状況

岩沼市教育委員会会議規則第 4 条の規定により、定例会を毎月 1 回、臨時会を必要に応じて開催しています。平成 30 年度は、14 回の会議を開催し、26 件の議案を審議しました。

開催期日・会議	議案番号	内容
平成 30 年 4 月 26 日(木) 定例会	第 5 号	学校医、学校歯科校医及び学校薬剤師の委嘱について
	第 6 号	岩沼市障害児就学指導審議会委員の委嘱について
	第 7 号	岩沼市社会教育委員の委嘱について
5 月 24 日(木) 定例会	第 8 号	岩沼市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
	第 9 号	岩沼市通学路等安全対策推進会議委員の委嘱について
	第 10 号	岩沼市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
	第 11 号	岩沼市いじめ問題対策推進委員の委嘱について
	第 12 号	岩沼市学校給食運営協議会委員の委嘱について
	第 13 号	岩沼市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について
	第 14 号	岩沼市民図書館運営協議会委員の委嘱について
	第 15 号	岩沼市青少年室運営協議会委員の任命について
第 16 号	岩沼市青少年室青少年相談員の委嘱について	
6 月 14 日(木) 定例会		
7 月 10 日(火) 持ち回り審議	第 17 号	平成 31 年度使用教科用図書採択希望について
7 月 26 日(木) 定例会		

開催期日・会議	議案番号	内容
8月23日(木) 定例会		
9月27日(木) 定例会	第18号	岩沼市民図書館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について
10月11日(木) 定例会		平成31年度岩沼市教育委員会予算編成方針について
11月8日(木) 定例会	第19号	岩沼市体育施設等への指定管理者制度導入に伴う関係条例の整備に関する条例について
	第20号	岩沼市体育施設等への指定管理者制度導入に伴う関係教育委員会規則の整備に関する規則について
	第21号	岩沼市営スポーツ公園設置条例施行規則の制定について
	第22号	岩沼市有料公園施設に関する規則の制定について
	第23号	平成31年度岩沼市教育委員会予算について
12月20日(木) 定例会		
平成31年 1月24日(木) 定例会	第1号	岩沼市教育基本方針及び平成31年度岩沼市教育重点目標について
	第2号	岩沼市立学校の学校医・学校歯科医並びに学校薬剤師の設置及び職務に関する規則の一部を改正する規則について
	第3号	岩沼市教育委員会点検・評価報告書(平成29年度実績)について
2月14日(木) 定例会	第4号	小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則について
2月14日(木) 定例会・秘密会	第5号	県費教職員の任免等の内申について
3月22日(金) 臨時会・秘密会	第6号	市職員(管理職)の人事異動について
3月28日(木) 定例会	第7号	いわぬま子どもの心のケアハウス事業実施要綱の制定について

2 総合教育会議の開催状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4の規定により、市長と教育委員会により、総合教育会議を開催しております。平成30年度は、2回の会議を開催し、5件の議題について話し合われました。

開催期日	議 題
平成30年5月10日(木)	平成30年度予算における教育分野の主な取組について
	教育委員会の課題について
平成30年12月17日(月)	平成31年度重点的に取り組む教育施策について
	子どもたちの夢・あこがれを育む具体的な方策について
	平成31年度以降の教育等の振興に関する施策の大綱について

3 教育機関訪問

毎年、岩沼市内の教育機関及び小中学校を訪問、視察し、教育委員と所属長との意見交換を行っております。平成30年度は次のとおり実施しました。

開催期日	視察先
平成30年10月12日(木)	岩沼市立玉浦中学校 (ICTを活用した授業)
	岩沼市立玉浦小学校 (特別支援学級「共に学ぶ授業」)
	岩沼市陸上競技場 (改修工事の進捗、指定管理制度移行説明)

Ⅲ 事務事業の実施状況・点検・評価

点検・評価の対象とした事務事業は、平成30年度岩沼市教育基本方針の4つの分野における重点目標として掲げた下記の17項目とし、その実施状況について記載し、基本方針ごとに点検・評価を行いました。

記

岩沼市教育基本方針

未来社会を展望し、広い視野と主体性をもち、命あるすべてのものと共に生きる心豊かな人間の形成と、明るく楽しい魅力あるまちづくりをめざし、学校・家庭・地域が一体となって、たくましさやさしさを培う学校づくりの推進
学びと潤いにみちた地域社会の実現
かおり高い芸術文化の醸成
感動と活力あふれるスポーツの振興
を中心に、市民の生涯にわたる学習の充実に努める。

平成30年度岩沼市教育重点目標

たくましさやさしさを培う学校づくりの推進

- 1 夢やあこがれをはぐくむ学校づくり
- 2 豊かな人間性や社会性、健やかな心身の育成
- 3 障害のある子どもへのきめ細やかな教育の推進
- 4 信頼され魅力ある教育環境づくり

学びと潤いにみちた地域社会の実現

- 1 社会教育推進体制の整備
- 2 学習機会の充実
- 3 家庭教育及び幼児教育支援の充実
- 4 青少年健全育成活動の推進と社会参加の促進
- 5 社会教育団体活動の推進と支援
- 6 社会教育施設の充実
- 7 読書活動の推進

かおり高い芸術文化の醸成

- 1 芸術文化活動の推進
- 2 文化財の保護と活用の推進

感動と活力あふれるスポーツの振興

- 1 スポーツ団体活動の支援
- 2 総合型地域スポーツクラブの活動支援
- 3 スポーツ施設の整備と活用の推進
- 4 指定管理者による体育施設の管理運営

たくましさやさしさを培う学校づくりの推進

1 夢やあこがれをはぐくむ学校づくり

(1) 学力向上の着実な推進

- ① 校内研究や教職員研修の充実
(教育指導専門監派遣による校内研究充実支援事業)
 - 専門監訪問回数30回
- ② 個に応じたきめ細やかな指導の充実
(指導助手・支援員の配置事業)
 - 小中学校指導助手8名 特別支援指導助手12名 特別支援教育支援員13名を配置
- ③ 学習習慣の確立と定着を図る取組の推進
(「家庭学習の手引き」「家庭教育のために」の作成・配付事業 学力向上推進事業)
 - 家庭学習の手引き：全児童・生徒へ配付
 - 家庭教育のために：新入生保護者配付
 - 岩沼学び塾：夏季・冬季休業期間及び放課後実施
- ④ 理科教育の充実
(只野文哉記念科学技術奨励事業「作品展」「サイエンススクール」「理科大好きフェスティバル」)(副読本作成・配付事業「わたしたちの岩沼」「いわぬまの自然」)
 - 科学技術作品展：10月市民図書館にて開催
 - サイエンススクール：岩小・岩中にて実施
 - 理科大好きフェスティバル：10月13日南小で開催(来場者約250名)
 - 「いわぬまの自然」タブレット版：平成30年4月1日リリース
- ⑤ 全国学力・学習状況調査結果の分析・考察と改善方策の展開
 - 教務主任者会・研究主任者会で指示

(2) 夢やあこがれをはぐくむ教育活動の展開

- ① 学校の実態に応じた教育課程の編成と評価活動の推進
 - 教務主任者会・研究主任者会で指示
- ② 総合的な学習の時間・特色ある学校づくり推進事業の充実
(プロポーザル事業 未来へはばたく学校づくり事業 夢あこがれ支援事業)
 - 小中学校へ計8,430,000円の助成
- ③ ユニーク先生活用事業の充実
(ユニーク先生活用事業)
 - 各小中学校の特色を生かして展開
- ④ 適切な進路指導及び地域と連携した社会性・職業観をはぐくむ教育の推進
(志教育及び夢☆あこがれプロジェクト事業)
 - 西村まさ彦さんによる授業(南小で開催)

- スクールコンサート（北中で開催）
- 理科大好きフェスティバル（南小で開催）
- サイエンススクール（岩小・岩中で開催）

（３）伝統・文化の尊重と国際理解をはぐくむ教育の推進

- ① 環境教育・ふるさと教育の推進
（総合的な学習の時間・特色ある学校づくり推進事業）
 - 小中学校へ計 8,430,000 円の助成
- ② 国際理解教育の推進
- ③ 外国語活動及び外国語教育の充実
（外国語指導助手招致事業 外国語活動（英語）研修会開催）
 - 外国語指導助手（ALT）を 5 名配置
 - 英語教育推進委員会 1 回開催
 - 英会話研修会 3 回開催

（４）教職員の資質・能力の向上

- ① 学校経営研修の充実
 - 小中学校校長会議及び教頭会議を毎月開催
- ② 若手教員の学びの場の提供
（志高研修会の開催）
 - 7月25日～27日 蔵王自然の家で開催（受講者15名）
- ③ ICT等教育機器の研修の充実
 - i-Teacher 研修会 2回開催（8月・12月）
 - ICT活用研修会（校長対象） 1回開催（6月）
- ④ 職能に応じた研修会の開催
 - 教務・研究主任者研修会 8回開催
 - 指導助手研修会 4回開催
 - 講師研修会 2回開催
 - 教育相談研修会 2回開催

2 豊かな人間性や社会性、健やかな心身の育成

（１）自他の命と人権を大切に作る心をはぐくむ道德教育の推進

- （道德教育研修会 教育指導専門監派遣事業）
 - 道德教育研修会 1回開催

（２）いじめ防止対策の推進

- （いじめ防止基本方針に基づく協議会や委員会 教育・いじめ防止フォーラム）
 - いじめ問題対策推進委員会・連絡協議会 2回開催

○岩沼市立学校「教育・いじめ防止フォーラム」の開催（12月）

（3）一人ひとりを大切にした生徒指導及び心のケアの充実

（小学校支援事業 中学校支援事業）

- 子どもと親の相談員の配置（市内小学校計2名）
- スクールカウンセラーの配置（市内全小中学校）
- スクールソーシャルワーカーの配置（拠点校：岩中）

（4）安全指導の充実及び防災教育の推進

（学校防災推進委員会 通学路安全プログラム事業）

- 防災推進委員会の開催 3回開催
- 岩沼市総合防災訓練の参加（7月）
- 通学路交通安全推進委員会 1回開催

（5）生活習慣の改善及び食育の推進

- いわぬま健幸運動を小中学校にて実施（6月・11月）
- いわぬま食育ウィークの実施（11月）

（6）体力・運動能力の向上と健康教育の推進

（運動体力講師派遣事業及び部活動支援事業並びに学校保健会への支援事業）

- 総合特色事業として助成
- 岩沼市学校保健会へ450,000円の助成

3 障害のある子どもへのきめ細やかな教育の推進

（1）全校体制による特別支援教育の展開

（特別支援教育総合推進事業）

- 特別支援連携協議会 2回開催
- コーディネーター等連絡会 2回開催
- 特別支援教育研修会 1回開催

（2）特別支援指導助手及び特別支援教育支援員の配置の推進

（特別支援指導助手及び特別支援教育支援員配置事業）

- 特別支援指導助手 12名配置
- 特別支援教育支援員 13名配置

（3）一人ひとりのニーズに応じた支援の充実

（個別の支援計画及び適切な就学指導）

- 個別の支援計画作成率 93%

○障害児就学指導審議会 2回開催

(4) 発達障害に関する知識と対応の充実

(コーディネーター等連絡会及び研修会)

○社会福祉課と連携した研修会の開催(7月・12月)

4 信頼され魅力ある教育環境づくり

(1) 教育施設整備計画に基づく安心して学べる学習環境整備の推進

(小中学校就学環境整備事業)

○就学援助費の支給

小学校(合計) 17,121,956円

中学校(合計) 18,083,396円

(2) ICT教育環境と英語教育環境整備の推進

○MIYAGI Style Ver.2までの機器整備完了

(タブレットPCをグループに1台配置し、協働学習を実施)

○外国語指導助手(ALT)を5名配置

(3) 小・中学校指導助手、特別支援指導助手及び特別支援教育支援員配置の推進

(小・中学校指導助手及び特別支援指導助手配置事業)

○小中学校指導助手8名 特別支援指導助手12名 特別支援教育支援員13名を配置

(4) 教員が子どもと向き合う時間の確保(働き方改革)

○在校時間調査

○ハイシーズンとオフシーズンを意識したメリハリのある部活動

○学校事務共同実施の効率化

(5) 教育相談体制の充実(東日本大震災からのストレスを軽減するための心のケアの充実)

(小学校支援事業 中学校支援事業)

○子どもと親の相談員の配置(小学校計2名)

○スクールカウンセラー(全小中学校へ配置)

○スクールソーシャルワーカーを拠点校の岩中へ配置

○新就学児童向けの就学相談会の実施(8月)

(6) 学習支援ボランティアの活用と協働教育の推進

(宮城教育大学・仙台大学・東北福祉大学等との連携及び地域連携推進事業)

○理科大好きフェスティバル

○岩沼学び塾

○中学校総合体育大会における支援

(7) 家庭・地域社会に開かれた信頼される学校づくりの推進

(学校評議員及び地域連携推進事業)

○学校評議員31名委嘱

○ふれあいパトロール隊員約84名登録(年1回研修会開催)

(姉妹都市高知県南国市訪問団との交流事業)

○8月19日～21日(南国市より児童4名、生徒6名、教職員10名が岩沼市を訪問)

※玉小・玉中で防災学習等の交流活動、岩沼市内等の観光

(姉妹都市高知県南国市教育委員会の事業視察)

○10月17日～19日(岩沼市教育委員会職員4名、教職員6名参加)

※南国市における教育活動の視察、防災学習交流、文化交流、次年度事業に向けて岩沼市・南国市の児童生徒間交流のあり方を探った。

「たくましさやさしさを培う学校づくりの推進」に関する事業の点検・評価

総合的な学習の時間・特色ある学校づくり、ユニーク先生活用事業は、福祉や農業、防災に関するゲストティーチャーを招くなどして、各校の総合的な学習の時間の充実等に寄与した。また、読み聞かせや農業体験、伝統楽器体験活動等、各校の特色づくりに資する学習を行う際には、それぞれのニーズに応じた講師を招聘し、授業を計画することができた。

さらには、岩沼学び塾の開催や各種指導助手、特別支援教育支援員の配置は、児童生徒の学力の向上と、個に応じたきめ細やかな指導の充実に大いに役に立っている。

学習面のみならず、児童生徒の心のケアの充実にも努めた。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置は、児童生徒、保護者の心の安定につながったと考える。

また、市内で学ぶ小学5年生、中学2年生が一堂に会して行った「教育・いじめ防止フォーラム」は、各校の教育活動の特色を共有することはもちろんのこと、いじめ撲滅へ向けての市内全学校挙げての強い意志を示すことができたと思う。

教職員の資質向上にも力を注いだ。校内研究充実支援事業やICTや教職員の働き方改革に関する研修会をはじめ、各種教職員研修の実施は教職員から好評を博した。

学校づくりに関する各種取組は、一定の成果を上げており、事業は概ね順調と判断した。

学びと潤いにみちた地域社会の実現

1 社会教育推進体制の整備

(生涯学習推進事業)

- 社会教育委員会議の開催（2回：6月・12月）
- 生涯学習振興事業助成金の交付 5団体 810,000円

2 学習機会の充実

(生涯学習推進事業) (放課後子ども教室推進事業)

- ジュニア・リーダー初級研修会の開催（16名参加）
- 子ども合宿の開催（17名参加）
- コラボスクール（里山体験学習）6回開催
- 電子顕微鏡体験教室の開催（5日間：106名参加）
- ふるさとの味、はらこ飯を味わおう！の開催（玉中・岩中・岩小）
- 二木の松俳句大会の開催（出展作品数2,049点）

3 家庭教育及び幼児教育支援の充実

(生涯学習推進事業) (放課後子ども教室推進事業)

- 東部のびやか教室の開催（34名参加）
- 西部のびやか教室の開催（45名参加）
- 南部のびやか教室の開催（30名参加）
- 北部のびやか教室の開催（26名参加）
- 子育て、親育ち講座 7回開催

4 青少年健全育成活動の推進と社会参加の促進

(青少年室相談事業) (成人式開催事業)

- 相談件数 8件
- 街頭巡回指導件数 30件
- 小中高生への声掛け件数 323件
- 有害広告物撤去件数 0件
- 子ども110番の家の設置件数 200カ所
- 少年の主張の開催
- 成人式の開催（348名参加）
- 青少年健全育成推進団体補助
 - ①岩沼市ジュニア・リーダー協議会 24,000円
 - ②岩沼地区少年補導員協会 36,000円
 - ③健やかな子どもを育てる岩沼市民会議 284,000円
 - ④岩沼市子ども会育成連合会 22,000円
 - ⑤岩沼市父母教師会連合会 50,000円

5 社会教育団体活動の推進と支援

(生涯学習推進事業)

○社会教育団体補助

- ①婦人団体連絡協議会 162,000 円
- ②ガールスカウト 16,000 円
- ③ボーイスカウト 16,000 円

6 社会教育施設の充実

- 市民会館・中央公民館 修繕費 6,400,058 円
- 西公民館 修繕費 1,105,948 円
- 市民図書館 修繕費 85,092 円

7 読書活動の推進

- 利用登録者数：17,914 人 貸出者数：94,155 人 総貸出数：374,296 冊
- 入館者数：177,021 人 蔵書数：198,608 冊
- 市民図書館運営協議会 2 回開催
- 読み聞かせボランティアステップアップ講座（115 名参加）
- 朗読講座 9 回開催
- 初心者向け読み聞かせ研修会（27 名参加）
- 第7回文化講演会（28 名参加）
- DVD上映会 6 回開催（122 名参加）
- 本のリサイクル市 入場者数約170人
- 読み聞かせサークルによるおはなし会（月1回～2回開催）

「学びと潤いにみちた地域社会の実現」に関する事業の点検・評価

のびやか教室、里山体験学習など地域の方に協力を得た事業を開催、平成28年度より事業を開始した「岩沼に愛着を持つ人材育成事業」も参加者に興味深く取り組んでいただき、地域の方との協働による学習機会の充実を図ることができた。さらに、青少年の健全育成や地域振興の一環として、子ども会育成会事業の支援を通じた、コミュニティづくりの推進に努めた。

市民図書館においては、本のリサイクル市、ぬいぐるみおとまり会等の各種事業を開催し、読書活動の推進に努めた。

市民の学習環境の整備、学習機会の充実に関する取組は、一定の成果をあげており、事業は概ね順調と判断した。

かおり高い芸術文化の醸成

1 芸術文化活動の推進

(1) 芸術文化鑑賞機会の充実

○文化事業協会の主催事業の開催 10事業19公演 入場者数延べ5,517人

(2) 参加し、創造する地域文化活動の充実

○第30回市民文化芸術祭の開催 47団体6個人、423人の参加
入場者数延べ3,000人

○第39回いわぬま市民交流フェスティバルの開催 71団体975人の参加
入場者数延べ2,750人

○中央公民館学級・講座の開催 9教室352人の参加

○中央公民館玉浦学級・講座の開催 7教室224人の参加

○西公民館学級・講座の開催 6教室183人の参加

○中央公民館社会教育団体登録数 56団体

○旧勤労青少年ホーム社会教育団体登録数 55団体

○西公民館社会教育団体登録数 47団体

○玉浦コミュニティセンター地域活動団体登録数 60団体

2 文化財の保護と活用の推進

(市史編纂事業) (文化財保護事業) (文化財発掘調査事業)

(1) 文化財の保護思想の普及と保護体制の整備

○文化財保護委員会 1回開催

○ふるさと展示室において文化財企画展の開催(第21回~第24回)

○出前授業 9回開催

○文化財めぐり 1回開催

(2) 文化財や歴史資料の調査と保存・活用(災害時レスキュー活動を含む)

○岩沼市史6巻 資料編Ⅲ 近世の発刊

(3) 民俗芸能の保護・育成

○指定文化財等補助 ①竹駒奴 30,000円

②早股熊野神楽 30,000円

(4) 震災からの復旧・復興に伴う埋蔵文化財発掘調査の推進

○北部・西部地区ほ場整備事業に伴う発掘調査

(5) 原遺跡発掘調査の推進

○原遺跡第3次発掘調査

「かおり高い芸術文化の醸成」に関する事業の点検・評価

公民館においては、各種教室・講座を開催、また、多様な社会教育団体に活動の場を提供し、生涯学習活動を積極的に推進した。

市民会館においては、各種イベントを通して、市民が身近に芸術文化に触れる機会を大いに創出した。

文化財保護・活用については、岩沼市史の編纂に取り組むとともに、郷土愛を育むために出前事業等を実施したほか、文化財の発掘調査を行い、特に原遺跡の第3次調査においては大きな成果を得た。

市民の多様な文化・芸術活動への支援、及び市が残すべき文化や歴史に関する取組は、一定の成果をあげており、事業は概ね順調と判断した。

IV 学識経験者の意見

鈴木 啓二郎 氏（元公立中学校長）

岩沼市教育委員会が作成した、平成 30 年度に実施した主な事務事業の執行状況の「点検・評価報告書」（平成 30 年度実績）について所見を述べる。

1. たくましさとやさしさを培う学校づくりの推進について

夢やあこがれをはぐくむ学校づくりのための 4 つの柱は、岩沼市独自の施策が随所に見られ、市内 4 小学校 4 中学校の特色ある学校づくり推進に大きく寄与しているものと思われる。教育指導専門監の複数配置、小学校外国語（英語）学習の教科化を踏まえた外国語指導助手の 5 名配置、指導助手・支援員の充実などは、児童生徒の学力向上と個に応じたきめ細やかな指導の充実に大いに役立っている。

校内研究充実支援事業や各種教職員研修の充実に力を注ぐとともに、教員が子どもと向き合う時間の確保を含めた働き方改革に、就労時間の自己管理や部活動へのハイシーズン・オフシーズンの導入など実際的な取組みを始めることで、職員の意識改革を促していることは高く評価できる。今後さらに、研修会等の充実・意識改革の推進に加えて、教員業務の精選・支援の具体的方策等の検討を期待したい。

「教育・いじめ防止フォーラム」は、いじめ撲滅への決意、市内小中学校の特色ある教育活動の推進と共有化に有効である。こころと体をはぐくむ諸活動のさらなる充実を通して震災の教訓を風化させないための取組みは全小中学校で継続していきたい。

2. 学びと潤いにみちた地域社会の実現について

地域の人材と学校との協働による充実した活動として行われている、のびやか教室や里山体験学習、はらこ飯体験学習、二木の松俳句大会などは、岩沼の児童生徒の原体験として定着していくことが期待できる素晴らしい活動である。

市民図書館が市民のニーズを取り入れ創意工夫をこらした各種事業を開催し、読書活動の推進に努めていることが、図書館の利活用状況からも伺うことが出来た。「子育て、親育ち講座」の一環として、中学校入学段階の保護者も支援対象と捉えていくことも今後求められるかもしれない。

3. かおり高い芸術文化の醸成について

公民館・市民会館等の利活用は活況を呈しており、市民の文化・芸術活動への旺盛なニーズを受け止め、各施設もその機能を最大限に発揮し生涯学習活動を積極的に推進していた。市史編纂、埋蔵文化財発掘調査など文化財の保護活用に成果が出ている。特に原遺跡の調査においては大きな成果を残している。

4. 感動と活力あふれるスポーツの振興について

市民スポーツ活動の支援と推進が図られている。特に、陸上競技場の全面改修が完了したこと

は、感動と活力あるスポーツの振興に大きく寄与していくものと思われる。各種イベントの開催とりわけエアポートマラソンは広く県下に知れ渡った歳時記としてのイベントとなっている。体育施設の管理運営は、指定管理者制度を導入・選定の運びとなったが、今後は制度を生かしたより充実した管理運営を期待したい。

5. おわりに

わが子の成長と密接に関係している教育に対する市民のニーズは、年々多様化し日々変化している昨今、関係各課が適切に対応し、市民の生涯にわたる学習の充実に鋭意努力されていることに敬意を表したい。今後さらに充実したものになるよう不断の努力をお願いしたい。

椎名 勝彦 氏（元公立中学校長）

岩沼市教育委員会が平成 30 年度に実施した主な事務・事業の執行状況についての点検・評価結果について、所見を述べる。

1. たくましさとやさしさを培う学校づくりの推進について

特色ある学校づくりのための支援と活用の内容が、より明確に記述され、教員や保護者からも高い評価を受けたことは素晴らしい。また、個に応じた指導の充実のために、今年度も教育指導専門監を複数名配置し、教職員の指導・助言を幅広く行い、指導力の底上げと士気高揚を図っていることも評価できる。さらに、各種指導助手が増員され、職能を高めるための研修会の回数が増えたことも良かった。各学校の要望に応じられるように、さらに継続的な支援を行っていただきたい。国際化・世界基準に合わせる I C T（情報通信技術）等教育機器の研修は、時宜を得たものである。研修の成果を、ぜひ児童生徒に還元してほしい。

「教育・いじめ防止フォーラム」を、一方的な伝達で無く、児童生徒も入れて一緒に行ったことも効果的であった。いじめや不登校が無くなることを期待する。

障害のある子どもの「個別の指導計画」の作成率が、前年度より大幅に伸びたことは好ましい。さらに生徒の実態把握に努め、活用を図ってほしい。

就学援助費の支給が減ったことは良かった。景気の回復と復興の表れと思われるが、支援の必要な家庭への予算は、十分に確保してほしい。

2. 学びと潤いにみちた地域社会の実現について

のびやか教室や里山体験学習等に地域の方の協力を得て、四季行事や遊び等の体験学習を提供できたことは素晴らしい。今後も、子どもたちを見守れる、いろいろな遊びに精通した人材、心を豊かにできる特技を持った指導者の確保に努めてほしい。

青少年健全育成推進団体の補助金の一部減額されたのは残念である。情報交換等を通しての各地区のコミュニティづくりの推進と、ジュニア・リーダー等を活用しての青少年の健全育成を図るためには、予算の裏付けが必要と思われる。

図書館の利用登録者数・入館者数が増えたのは良かった。各種事業の実施の賜物と思われる。継続して、蔵書の確保・読み聞かせ研修会等の開催をお願いしたい。

「岩沼に愛着を持つ人材育成事業」が分かりにくい。内容と位置づけの掲載が必要と考える。

3. かおり高い芸術文化の醸成について

玉浦コミュニティセンターの活用団体登録数が 2 倍強に増えた。これも、復興の表れと思われる。今後も、各公民館において多種・多様な講座を開催・提供し、充実した公民館活動が行われることを期待する。できれば、土日や夜間の講座が増えると、勤労者にとってはありがたい。

文化財に関する出前授業が昨年より増えたことは良かった。各学校のカリキュラムの関係で難しい面もあるが、さらなる充実を期待したい。また、原遺跡の第 3 次調査の結果等、市の文化財についての広報活動をもっと行い、市民の郷土愛を育ててほしい。

4. 感動と活力あふれるスポーツの振興について

愛好家の多いグランドゴルフの練習場でもある陸上競技場の改修工事が完了したことは、大変良かった。全スポーツの基本となる陸上競技の愛好者が増えることを期待したい。

体育施設の指定管理者が決定したことも良かった。民間のノウハウ・アイデアを生かした、新しい取り組みが実施されることを期待したい。また、生涯的にスポーツを楽しむ子どもたちを育てるために、著名スポーツ人の講演の実施、地域指導者の確保等、今後も計画的に支援に努めていただきたい。

岩沼市教育委員会点検・評価報告書（平成30年度実績）

令和2年1月発行

発行：岩沼市教育委員会

編集：岩沼市教育委員会 教育総務課

〒989-2480 岩沼市桜一丁目6番20号

電話 0223-22-1111（内線552） FAX 0223-24-0897

メール kyouiku-soumu@city.iwanuma.miyagi.jp